

# 自然との調和テーマに

## 伊那 平澤さんまつむらさんコンサート

伊那市在住のピアニスト平澤真希さん(55)と絵本作家・画家のまつむらまさこさん(71)出演のコンサート「森からのメッセージ〜冬から春へ」(伊那市主催、長野日報社



など後援)が23日、同市荒井のニシザワいなっせホールで開かれた。新型コロナウイルスの影響で1年延期した公演。自然との調和をテーマに、平澤さんの壮大なピアノ演奏と

情感たっぷりに演奏をする平澤さん

豊かな表現で語りをするまつむらさん

まつむらさんの語りを通し、約300人の観客にそれぞれの思いを届けた。これまでにも共演経験のある2人。伊那市では初めての公演で、今回は「自然に生かされ、『いのち』の古里を与えられていることを伝えたい」との思いを込めた。

コンサートは平澤さん作曲の「祈り」で開幕。2部構成で、1部では六花(雪の結晶)を題材に、まつむらさんが作った詩に平澤さんが曲を付けた組曲「六花〜冬の終わりに」を披露した。2部は森からのメッセージをテーマにした物語と演奏「地から宇宙(そら)へ」。まつむらさん

の表現力豊かな語りと平澤さんの繊細で迫力のあるピアノ演奏で、自然からの人間へのメッセージを伝えた。「本当に大切なことが伝わればいいな」と思っただけで演奏した」と平澤さん。自身が作曲した曲のほか、ショパンやシベリウス作の楽曲も奏で、観客を魅了した。(町田陽)

の表現力豊かな語りと平澤さんの繊細で迫力のあるピアノ演奏で、自然からの人間へのメッセージを伝えた。「本当に大切なことが伝わればいいな」と思っただけで演奏した」と平澤さん。自身が作曲した曲のほか、ショパンやシベリウス作の楽曲も奏で、観客を魅了した。(町田陽)